

令和8年度

総合型選抜学生募集要項
(インターネットにより出願受付)



令和7年6月



静岡大学

出願準備から受験までの流れ

- ① 入試日程・出願手順を確認する。



- ② 出願書類を準備する。

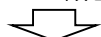
●ダウンロードが必要な様式を静岡大学学部入試ウェブサイトからダウンロードし、作成する。(30ページ参照)

- ・自己推薦書
- ・課題レポート(人文社会科学部 経済学科)
- ・活動歴報告書(グローバル共創科学部)

●高等学校に調査書を依頼する。

●その他、出願学部で必要な書類を用意する。(30ページ参照)

- ・合格証明書類のコピー(人文社会科学部 経済学科)
- ・高等学校の成績通信簿のコピー(任意)(情報学部 情報科学科)
- ・英語力証明書類のコピー(グローバル共創科学部)
- ・職歴(在職)証明書(グローバル共創科学部 社会人枠)



- ③ 静岡大学インターネット出願サイトにアクセスする。
(下記URL参照)



- ④ インターネット出願サイトにて必要事項を入力する。



- ⑤ 検定料等を納入する。(クレジットカード決済・コンビニ決済)
※検定料 17,000円(要別途手数料)

※入試情報開示手数料 700円(希望者のみ)

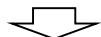
◎ 納入後の入学検定料等は、28ページの「検定料等の返還等について」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。



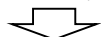
- ⑥ 検定料の納入後に出力可能となる書類(出願確認票、受験票送付用封筒宛名ラベル及び出願封筒用宛名ラベル)を出力する。



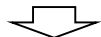
- ⑦ 出願確認票の記載内容を確認する。



- ⑧ 出願封筒用宛名ラベルの内容を確認し、市販の角形2号の封筒に貼付のうえ、出願期間内に必着するように出願書類を郵送する。
(注：消印有効ではありません)



- ⑨ 大学からの受験票・写真票を郵送にて受領する。



- ⑩ 写真票(写真を貼付)を試験当日に持参し、受験する。

※ インターネットでの登録だけでは出願は完了しません。必ず出願書類を出願期間内に必着するように送付してください。

【インターネット出願サイト】

<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/entry/>



インターネットによる出願のできない志願者は、出願開始前日までに入試課までご連絡ください。

目 次

I はじめに	2 ページ
☆ 静岡大学の「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」	＜2ページ＞
☆ 各学部の入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）	＜2ページ＞
☆ 学部等の所在地	＜9ページ＞
II 募集人員	9 ページ
III 出願上の注意	10ページ
IV 障害のある入学志願者への受験上の配慮	11ページ
V 選抜方法等	12ページ
1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜	
人文社会科学部：1 2 ページ，	情報学部：1 3 ページ，
工 学 部	：1 4 ～2 0 ページ，
農 学 部	：2 1 ページ，
グローバル共創科学部	：2 2 ～2 4 ページ
2 大学入学共通テストを課す総合型選抜	
理 学 部	：2 5 ページ
VI 選抜日時	26ページ
VII 試験場	26ページ
VIII 合格発表	27ページ
※ 受験票・写真票についての注意	＜27ページ＞
※ 検定料等の返還等について	＜28ページ＞
IX 出願手続	29ページ
1 出願期間	＜29ページ＞
2 出願方法	＜29ページ＞
3 出願先	＜29ページ＞
4 出願書類等	＜29ページ＞
☆ 入学手続（概要）	31ページ
☆ 「入学前準備教育」について	32ページ
☆ 総合型選抜 Q & A	33ページ
☆ 学生生活	37ページ
☆ 学生寮	38ページ
☆ 国際交流会館（静岡・浜松）	38ページ
■ 静岡キャンパスマップ	＜39ページ＞
■ 浜松キャンパスマップ	＜40ページ＞
入学試験情報の提供	41ページ
個人情報取扱	41ページ
安全保障輸出管理	41ページ

I はじめに

☆ 静岡大学の「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」

【育てる人間像】

静岡大学は、教職員、学生が共に「自由啓発」を基盤として、平和で幸福な「未来創成」をめざします。この基本理念の下、地球の未来に責任をもち、アジアをはじめ諸外国との関わりをもつ国際的感覚を備え、高い専門性を有し、失敗を恐れないチャレンジ精神にあふれた人格を育成します。こうした人格こそが、社会の様々な分野でリーダーとして、21世紀の解決すべき問題を追求し続ける豊かな人間性を有する教養人です。

【目指す教育】

感性豊かな知性を育てるために、フィールドワーク、ものづくり体験、地域づくり、子どもと共にそだちあえる学校や地域の場に接する機会を活用します。それによって刺激を受けた人間力を、基礎と応用の分野での学習・研究に反映させます。

【求める学生像】

失敗を恐れず若々しいチャレンジ精神をもち、人の意見によく耳を傾け、それに学び、協調性豊かに自己主張ができる人の入学を期待します。

* 「自由啓発」・「未来創成」については、本学ホームページの「大学案内」>「理念と目標・取組」>『理念と目標』（<https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/goals/>）をご覧ください。

* 静岡大学では「多様な選抜」で「多様な人材」を求めており、一部の学部・学科において専門学科及び総合学科枠等の出願資格の限られた募集区分を設けています。

☆ 各学部の入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

◆ 人文社会科学部

【育てる人間像】

21世紀の多様な問題に、社会、言語、文化、法律、政治、経済等の分野から取り組むために必要な専門知識と能力を身につけ、国際的な視野と幅広い教養を備え、人類社会の発展に貢献する市民・社会人を育成します。

【目指す教育】

人文社会科学諸分野の専門教育とともに、専門知識を生かして課題発見・問題解決する能力を育成する少人数教育やフィールドワーク教育（体験型教育）を行います。

【求める学生像】

人類社会が共に抱える諸問題に関心をもち、人文社会科学領域に対する学習意欲と、そのための基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

社会学科は5つの専門分野からなる学際性の高い学科です。専門性を高めつつも横断的に学んでいくために、人間や社会に対しての旺盛な関心、各種科目についての基礎知識、論理的な思考力、正確な文章読解力、基礎的な表現力を身につけておくことが求められます。

言語文化学科で学ぶ基礎となる論理的な思考力、文章の読解力、自分の意見を伝える表現力、他者との意思疎通を図るコミュニケーション能力を高めておく必要があります。高等学校までの教育課程で修得する基盤的教養と国語や外国語の能力は特に重要です。

法学科で学ぶには、論理的な思考力、文章の読解力、自分の意思を適切に伝える表現力、他者との円滑な意思疎通を図る能力が必要になります。日頃から社会の動きに関心を持ち、幅広い問題意識と探求心を養っておいてください。

経済学科で学ぶには、必要な能力の素地となる基礎的な学力として、初等中等教育における国語・外国語・数学・理科・社会の各教科を学習しておくことが必要です。また新聞やニュースを通じて経済に関する国内外の時事問題等を理解しておくことが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

〔社会学科〕

人間社会や文化を現代的、歴史的な観点（哲学・倫理学、心理学、社会学、文化人類学、歴史学・考古学）から見直す学際的な知見と判断力を具えた有能な人材を養成することを目指し、そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

〔言語文化学科〕

言語によって表現されるあらゆる文化事象を教育研究の対象とします。言語と文化に関する深い専門性、学際的・国際的な視野、及び外国語の実践的能力を兼ね具えた人材を育成することを目指します。そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

〔法学科〕（夜間主コース含む）

法学・政治学は、現代社会の理解を目的に、それに必要な法的・政治的な知識、分析・総合能力、論理的思考能力、表現能力等の修得を目指すものです。そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

〔経済学科〕（夜間主コース含む）

人びとの経済活動は、現代社会の根底的な基礎をなしています。社会や経済が変化していくなかで、その実態や理論を学び、経済問題への分析を深め、その解決方法を探ることはきわめて重要です。経済学科では、このような課題に取り組み、社会や企業において活躍できる人材の育成を目指しておりそのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

《総合型選抜》：経済学科のみ（夜間主コースを除く）

- （１）経済・経営を中心とした文章・資料等（グラフ・図表などを含む）の読解、評価能力を問う論述試験：人びとの経済活動は、近現代社会の根底的な基礎をなしています。社会や経済のあり方が大きく変化していくなかで、その実態や理論を学び、分析を深め、深刻な経済問題や地球環境問題を解決することはきわめて重要です。このような問題に取り組むために必要な能力・学力・適性等を総合的に判断します。
- （２）レポートに基づく面接：現代経済の直面する問題についての理解力や自分の考え等をまとめ、展開する力について判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
総合型選抜	経済学科(*1)	グラフ、表などの読解、 評価能力を問う論述試験	○	○	
		レポートに基づく面接	○	○	○

*1：夜間主コースを除く

◆情報学部

【育てる人間像】

情報科学、行動情報学、情報社会学についての豊かな知識と国際感覚を備え、情報モラルと高度な情報技術、情報マネジメント能力を身につけた社会人を育成します。

【目指す教育】

情報科学、行動情報学、情報社会学が連携・融合した情報学の基礎的な教育とともに、それぞれの分野において計算機科学、データサイエンスや情報サービス、情報社会デザインという体系的な専門教育を行います。

【求める学生像】

著しい発展を続ける学問分野「情報学」に強く興味を持つ人、情報ネットワーク社会にあって多様化する地域社会および国際社会に貢献する意欲のある人、情報技術とそれを取り巻く社会や人間行動の変化を捉える学理を確立する意欲のある人、情報学を学ぼううえで必要な基礎学力と論理的思考力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

情報学部は文工融合の理念にもとづいた学部です。学科により理系入試と文系入試がありますが、大学入学後は3学科の専門科目にまたがる諸科目を履修します。

したがって、大学での授業に対応できるように理系文系を問わず広く教科・科目を学習し、基礎知識を習得しておくことが必要です。また基礎知識に加えて、各教科・科目の学習を通して論理的思考力・問題発見力・表現力を養うことも必要です。

【入学者選抜の基本方針】

〔情報科学科〕

人間・社会と調和する情報システムの構築を目的に、a. 計算機科学の基礎となる理論や技術、b. インターネットの基礎となる計算機ネットワークの理論と技術、c. 人工知能システムなどの高度な情報処理システム、d. 音声や画像、自然言語などのメディア処理とその応用、e. 認知科学やそのヒューマンインタフェースへの応用などの分野で専門的実践能力をもった人材を育成することを目指し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

〔情報社会学科〕

高度情報化は、人間の社会や文化に深く影響を与えています。情報社会学科では、情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解したうえで、多角的な観点から情報社会の目標や課題を考えていきます。そして、多様な専門家との協働の場を形成し、新しい情報社会をデザイン・実現できる人材を育成することを目指し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

〔行動情報学科〕

高度情報化社会の下で、個人や組織の行動主体の情報学研究や、ICTのより実践的な活用が強く求められています。行動情報学科では、情報科学と行動科学を融合させ独自に発展しつつある「行動情報学」をベースに、革新的なサービスを創出する人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

《総合型選抜》：情報科学科

- (1) 基礎学力を問う試験：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
- (2) 書類審査：情報科学科で学ぶために必要な能力・適性などを判断します。
- (3) 面接：情報科学科で学ぶための論理的思考力・理解力・問題発見能力等を総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
総合型選抜	情報科学科	基礎学力を問う試験	○	○	
		書類審査	○	○	○
		面接	○	○	○

◆理学部

【育てる人間像】

高い専門性ととともに幅広い教養・豊かな人間性・国際感覚を身につけた社会に貢献できる人を育成します。

【目指す教育】

自然界の真理の探究、科学の進展と応用を通じて人類の幸せに寄与することを目指した教育を行います。

【求める学生像】

知的好奇心や探究心を強く持って未知へ挑戦する情熱ある人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

理学部が行う入学者選抜試験は、受験者が上記の「求める学生像」を満たす人であるかどうかをはかるものです。「未知への挑戦」のためには幅広い基礎知識が必要です。

したがって、入試種別に関わりなく、特定の教科・科目にかたよらないよう、高校までに学習する全ての教科と科目についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

【入学者選抜の基本方針】

〔数学科〕

現代数学の基礎的分野について確実な知識を持ち研究・教育・応用いずれの方面に進んでも、それぞれの創造性を十分発揮できるような人材の養成を目標に、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔物理学科〕

物理学の基本となる力学、電磁気学、統計物理学、量子力学などの科目を通じて、物理学的な考え方や数学的手法を学び、自然現象の本質を探る研究や科学技術の研究開発に必要な基礎学力と論理的で柔軟な思考能力を身につけて、社会や学問の発展に貢献できるような人材の育成を目的に、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔化学科〕

物理化学、無機化学、有機化学、生物化学などの化学の幅広い理論や技術を学び、自然科学の分野において活躍できる人材の育成を目的に、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔生物科学科〕

生物科学についての理論と技術を幅広く学び、生物科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔地球科学科〕

地球科学についての理論と技術を幅広く学び、地球科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔創造理学（グローバル人材育成）コース〕

基礎科学の各分野における学識とそれに基づいた問題解決能力を備え、英語による情報の収集・発信を行う力や国際感覚を持ち、各分野の知識・技術を社会に活かすイノベーションの感覚を持ってグローバルに活躍できる人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

《総合型選抜》：地球科学科

- (1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。
- (2) 面接：地球科学に関して興味のある分野や事柄、これまで熱心に行ってきた活動や体験、大学における学習計画、将来の抱負などを中心に質疑応答を行い、それらを通じて論理性や表現力、理解力などを評価します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜	地球科学科	大学入学共通テスト	○	○	
		面接	○	○	○

◆工学部

【育てる人間像】

「仁愛を基礎にした自由啓発」の精神を尊び、人類の豊かな未来の創成に貢献することを理念とし、「ものづくり」を基盤とした基礎力と実践力を備え、地域社会や産業分野でリーダーとして活躍し世界にはばたく人材を育成します。

【目指す教育】

豊かな教養と感性及び国際的な感覚を身につけ、多様化する社会に主体性を持って柔軟に対応し、独創性に富んだ科学技術を創造する技術者として活躍できるための素地を培う実学重視の教育を行います。

【求める学生像】

「ものづくり」に興味があり、何事にも協調性を持ちながら積極的に立ち向かう人、高い倫理観を持って社会に貢献しようとする人、工学を学ぶうえで必要な基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

工学部が行う入学者選抜試験は、工学を学ぶうえで必要な基礎学力を受験者が有しているかを判定します。大学入学共通テストでは、前後期日程とも6教科8科目を課し総合的な基礎学力を問うとともに、個別学力検査では、各学科で学ぶための基本となる学力について問うため、前後期日程とも数学、理科、英語の3教科3科目を課しています。

したがって、入試種別に関わりなく、理系科目に重点を置きながらも、文系科目を含めて高校までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得していることが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

〔機械工学科〕

航空宇宙の技術や環境問題にも対応できる先端の機械技術を有する人材、ロボットなどの身近な機械の設計や先端材料の強度設計と加工技術を有する人材、光・電気電子・情報・生体・ナノ工学分野を積極的に取入れた機械システム・技術の開発に貢献できる人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔電気電子工学科〕

現代文明を支える社会・産業の基幹技術としての電気電子工学は、情報通信・情報処理、生体医用技術、光エレクトロニクス、電気エネルギーの発生および有効利用、パワーエレクトロニクス、電子計測制御技術の開発・応用へと広範囲に時代の要請を先取りして広がっています。これらの電気電子工学の諸分野において高い専門性を持った人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔電子物質科学科〕

電子物質科学は、現代の豊かで安全な生活を支えている電気電子機器産業や輸送機器産業あるいは新規エネルギー産業の発展の基盤となる電子物理と物質科学を融合した新しい学問分野です。そこで、本学科では数学、物理や化学の基礎学力があり、日本が世界に誇れるデバイス技術と材料技術をともに修得して新しい学問領域や科学技術の進歩を牽引できる人材の育成を目指しており、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔化学バイオ工学科〕

化学バイオ工学科では、光機能物質、生体機能物質などの環境調和型高機能物質のデザインと創成や、環境化学、化学システムの開発・設計に関する教育と研究を行います。また、化学技術と生物工学を新たに融合させた「生物からのものづくり技術」であるケミカルバイオエンジニアリングに関する教育と研究を行います。この化学をベースとした新領域の工学的応用を進めていくことにより、研究開発やシステム構築を含めた化学分野全体において、責任を持って積極的に目的を遂行できる社会のリーダーたる人物の育成を目指します。選考では、そのために必要な能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔数理システム工学科〕

数理システム工学科では、数理モデリング・シミュレーション・最適化など数理科学の手法とプログラミング言語・アルゴリズムなど情報科学の基礎、そしてリスク管理など環境科学の諸分野の学習により、「地球にやさしいシステムエンジニア」の育成を目指しており、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

《総合型選抜》

- (1) 基礎学力を問う試験：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
- (2) 面接：志望学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。面接は口頭試問を含みます。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜	全学科	基礎学力試験	○	○	
		面接	○	○	○

◆農学部

【育てる人間像】

人間社会と直結したフィールド科学と基礎科学を修得し、農学の幅広い専門分野を俯瞰でき、かつ相応の専門性を有するとともに、人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し、地域活性化への貢献とグローバル社会への適応が可能な総合力を備えた人材を育成します。

【目指す教育】

実地体験型フィールド演習と基礎科学実験を基盤として、座学と実験・演習の連動を重視したカリキュラム構成によって、基礎から応用までを見渡せる広い視野を身につけるとともに、専門性を高める教育を行います。

【求める学生像】

自然科学、生命科学を学ぶ上で必要な適性と基礎学力を有し、人類の生存と福祉に関わる環境・社会問題の解決、持続可能な生物生産技術の開発、応用生命科学の探求に強い意欲を持つ人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

農学部が行う入学者選抜試験は、受験者が「求める学生像」の観点を満たす人物であるかどうかをはかるものです。前期日程では、大学入学共通テストで6教科8科目と個別学力検査では数学、理科を課しています。また後期日程では、大学入学共通テストの6教科8科目と個別学力検査では理科等を課しています。

したがって、入試種別に関わりなく、高等学校修了までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得するとともに、理系科目を十分に学習しておく必要があります。

【入学者選抜の基本方針】

人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し、持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を、次の各試験において判断します。

《総合型選抜》：生物資源科学科

(1) 基礎学力を問う試験：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

(2) 面接：生物資源科学科で学ぶための農学の素養等を総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜	生物資源科学科	基礎学力を問う試験	○	○	
		面接	○	○	○

◆グローバル共創科学部

【育てる人間像】

地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、社会的課題が多様化・複雑化する現代社会の状況を踏まえ、人文・社会科学から自然科学に至る多様な知を結びつけ複眼的アプローチから諸課題に取り組み、未来社会を構想できる共創型の人材を育成します。また、人々や世界の多様性を理解し尊重した上で、多様な背景をもつ人々と協働して社会的課題の解決に取り組むことのできる人材を育成します。

【目指す教育】

人文・社会科学から自然科学に至る幅広い知を繋げることを通して、複眼的観点から社会的課題を的確に捉え「総合知」を活用し、これからの課題解決に取り組む人材を育成するため、課題解決に必要な広汎な知識、異分野の人材を深く連携させ「総合知」を活用できる知識・能力、解決策を発想するための創造性、多様な背景をもつ人々と協働する能力を身につけます。また、新しい社会の価値や仕組みを構想できる人材を育成するため、基本的な知識・技能として、外国語（特に英語）と数理・データサイエンスの能力と技能を養います。

【求める学生像】

地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、様々な社会的課題の解決に取り組み、よりよい未来社会の実現に貢献することに意欲をもっており、特に「現代に生きる人々が、創造的かつ友好的に暮らす」、「新たな価値を創生し、持続的な循環型社会を実現する」、「人間がどうあるべきかを問い続け、真の豊かさを主体的に実現する」という3つの課題を通して、「未来社会・地球環境・人間環境の豊かさが持続可能なかたちで実現される」よう問題解決に向けて取り組むことに意欲ある学生を期待します。また、学修内容の指向性としては、文系と理系の双方を含む幅広い分野への興味をもっていること、外国語によるコミュニケーションへ意欲をもっていることを求めています。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

人文・社会科学分野から自然科学分野に至る幅広い分野を学ぶことになるため、文系と理系を含めた様々な分野を学習し、幅広い基礎的知識を修得していることが必要です。また、外国語（特に英語）や数理・データサイエンスを学ぶ上で必要な基礎的知識として、英語や数学を履修していることも求められます。

【入学者選抜の基本方針】

静岡大学グローバル共創科学部は、「求める学生像」「大学入学までに身につけておくべき教科・科目等」に基づき以下の三点を評価します。一般選抜では基礎的な学力を重視し、学校推薦型選抜、及び総合型選抜では社会・環境・人間等への関心や問題解決への意欲を含めて総合的に判定します。

- a. 外国語（特に英語）や数理・データサイエンスを学ぶ上で必要な基礎的知識として、英語や数学を履修していること
 - b. 文系と理系を含めた様々な分野を学習し、幅広い基礎的知識を修得していること
 - c. 地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、様々な社会的課題の解決に取り組み、よりよい未来社会の実現に貢献することに意欲をもっていること
- これら a, b, c を、次の各試験において判断します。

《総合型選抜》

- (1) 聴講・論述試験：a と b の達成度合いを判断します。
- (2) 面接：a と b の達成度合いと c を総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
総合型選抜	聴講・論述試験	○	○	
	面接		○	○

☆ 学部等の所在地

静岡県 地区	人文社会科学部	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
	教 育 学 部	
	理 学 部	
	農 学 部	
	グローバル共創科学部	
	地域創造学環（教育プログラム）	
	大 学 院（人文社会科学研究科修士課程）	
	〃（教育学研究科後期3年博士課程）	
	〃（教育学研究科専門職学位課程）	
	〃（総合科学技術研究科理学専攻修士課程）	
	〃（総合科学技術研究科農学専攻修士課程）	
	〃（山岳流域研究院修士課程）	
	〃（創造科学技術大学院自然科学系教育部後期3年博士課程）	
	〃（岐阜大学大学院連合農学研究科後期3年博士課程）	
	グリーン科学技術研究所	
浜松 地区	情 報 学 部	〒432-8561 浜松市中央区城北三丁目5番1号
	工 学 部	
	大 学 院（総合科学技術研究科情報学専攻修士課程）	
	〃（総合科学技術研究科工学専攻修士課程）	
	〃（創造科学技術大学院自然科学系教育部後期3年博士課程）	
	〃（光医工学研究科光医工学共同専攻後期3年博士課程）	
	電子工学研究所	
	グリーン科学技術研究所	

Ⅱ 募 集 人 員

学部	総合型選抜を 実施する学科	募 集 人 員		
		大学入学共通テストを 課さない総合型選抜		大学入学共通テストを 課す総合型選抜
		全学科枠	専門学科及び 総合学科枠	全学科枠
人文社会科学部	経 済 学 科		6	
	計		6	
情報学部	情報科学科		10	
	計		10	
理学部	地球科学科			8
	計			8
工学部	機械工学科		2	
	電気電子工学科		2	
	電子物質科学科		3	
	化学バイオ工学科	6	2	
	数理システム工学科	2	2	
	計	8	11	
農学部	生物資源科学科		12	
	計		12	
グローバル 共創科学部	グローバル共創科学科	20	8	
	計（※1）	20	8	
合 計		28	47	8

※1 グローバル共創科学部の募集人員の中に、社会人若干名を含めます。

※2 志願者が募集人員を下回った場合、及び選考の結果合格者が募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜の募集人員に含めます。

Ⅲ 出願上の注意

- 1 「大学入学共通テストを課す総合型選抜」への出願は、令和8年度大学入学共通テストで、本学が指定した教科・科目を受験していることが必要です。
- 2 本学の「総合型選抜」で不合格となった場合に備えて、一般選抜志願者として「前期日程試験」及び「後期日程試験」に出願することができます。
ただし、本学の総合型選抜で入学手続きをした場合は、一般選抜を受験しても合格者とはなりません。
- 3 本学の「総合型選抜」と本学の「学校推薦型選抜」、他の国公立大学の「総合型選抜及び学校推薦型選抜」との併願（併願とは、同時期に複数の選抜に出願することで、一方の合否が決定した後に出席する場合を除きます。）ができます。**ただし、本学の「総合型選抜」と「学校推薦型選抜」はそれぞれ「合格した場合に入学を確約できる」ことを求めています。**
- 4 本学の「大学入学共通テストを課さない総合型選抜」において、複数の学部に出願することはできません。
- 5 他の国公立大学に入学手続きをした場合は、速やかに本学に連絡してください。
- 6 「学校教育法施行規則第150条」の規定内容

- 1 外国において学校教育における12年の課程を修了した人及び令和8年3月31日までに修了見込みの人またはこれに準ずる人で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和8年3月31日までに修了見込みの人
- 3 専修学校の高等課程（修学年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した人及び令和8年3月31日までに修了見込みの人
- 4 文部科学大臣の指定した人
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した人（旧規程による大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和8年3月31日までに合格見込みの人で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの
- 5の2 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した人であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した人
- 6 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した人であって、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 7 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの

- 7 学校教育法施行規則 第150条第4号に基づくGCE Aレベルの入学資格により出願しようとする場合の科目数や評価等は、以下のとおりです。

学 部	科目数・評価等
人文社会科学部	・Aレベル試験3科目 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。
教育学部	・Aレベル試験3科目 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。
情報学部	・Aレベル試験3科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。 ・情報科学科では数学、行動情報学科では数学及び心理に関する科目を含むものとします。(すべてAレベル試験)
理学部	・Aレベル試験1科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。
工学部	・Aレベル試験3科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。 ・数学及び理科(物理又は化学)に関する科目を含むものとします。
農学部	・Aレベル試験1科目 ・ASレベル試験は不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。 ・理科(物理、化学又は生物)に限りします。
グローバル共創科学部	・Aレベル試験3科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。 ・数学に関する科目を含むものとします。(Aレベル試験)

- 8 学校教育法施行規則 第150条第7号で出願しようとする人は、出願資格の審査が必要です。出願期間開始2週間前までに本学入試課に連絡してください。（理学部の総合型選抜において、大学入学共通テスト本試験受験後に志望大学を本学へ変更し出願しようとする人は、本学入試課に連絡の上、大学入学共通テスト本試験終了日3日後までに申請書類を提出してください。）

IV 障害のある入学志願者への受験上の配慮

- 1 障害のある入学志願者で、**受験上及び修学上の配慮を希望する場合は**、出願する前に、下記により申請してください。結果については決定次第、本人に連絡します。**大学入学共通テストの受験に際し配慮を申請した人も、必ず申請してください。**

なお、申請前までに本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申 請 期 限	出願期間開始の1か月前まで、厳守をお願いします。 ※対応の検討に時間を要する場合がありますので、できる限り早めに申請してください。
申請の方法	本学所定の『受験上の配慮申請書』に、『障害者手帳』の写しまたは医師の『診断書』（大学入学共通テストで受験上の配慮を認められた場合は「受験上の配慮事項決定通知書」の写し）を添えて申請してください。 なお、必要な場合は、本人またはその立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。
連 絡 先	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学入試課入試実施係 Tel 054-238-4465

- 2 上記申請期限後に、不慮の事故等のため、受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、速やかに本人または代理人が医師の『診断書』を持参のうえ、申請期限に遅れた理由書（様式自由）を添えて、上記【連絡先】に申請してください。
- 3 受験上の配慮の許可を受けた場合は、出願書類送付封筒の表に「受験上の配慮」と朱書きし、本学から送付された「受験上の配慮についての通知」の写しを出願書類に同封してください。

【注】1 『受験上の配慮申請書』は、本学のウェブサイトからダウンロードしてください。
(学部入試サイト = <https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/measures/>)

郵便による照会及び『受験上の配慮申請書』の用紙を請求する場合は、110円分の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した『返信用封筒（長形4号：20.5cm×9cm）』を同封のうえ、上記連絡先まで送付してください。

- 2 電話による照会及び『受験上の配慮申請書』を持参する場合は、土曜日、日曜日及び休日（大学が定める夏季及び冬季一斉休業期間を含みます）には受け付けませんので注意してください。

V 選抜方法等

1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜 1－(1)

〔人文社会科学部 1／1〕

学 部	人文社会科学部
学 科	経済学科
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠 6 名
出 願 期 間	令和 7 年 11 月 4 日（火） から 令和 7 年 11 月 10 日（月） まで 《最終日の17時までの必着とします。》
選 抜 期 日	令和 7 年 11 月 22 日（土）
選 抜 方 法 等	1 経済・経営を中心とした文章・資料等の読解，評価能力を問う論述試験（配点：200点） 志願者全員に経済・経営を中心とした文章・資料等（グラフ・図表などを含む）の読解，評価能力を問う論述試験を課します。 2 レポートに基づく面接（配点：100点） 志願者は，以下の課題のいずれかを選択し，事前にレポート（所定の用紙）を提出してください。同レポートにもとづき質疑を行います。 課題：外国人労働者，物価上昇，サブスクリプションビジネス 3 1と2の結果を総合して選抜します。
配 点	合計 300（論述試験 200，面接 100）
選 抜 方 針	経済・経営を中心とした文章・資料等（グラフ・図表などを含む）の読解，評価能力を問う論述試験：人びとの経済活動は，近現代社会の根底的な基礎をなしています。社会や経済のあり方が大きく変化していくなかで，その実態や理論を学び，分析を深め，深刻な経済問題や地球環境問題を解決することはきわめて重要です。このような問題に取り組むために必要な能力・学力・適性等を総合的に判断します。 レポートに基づく面接：現代経済の直面する問題についての理解力や自分の考え等をまとめ，展開する力について判断します。
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。）の商業に関する学科，総合学科を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人（高等専門学校第3年次を令和8年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を全て満たす人 ・商業に関する科目のみで20単位以上修得（見込みを含む）の人，もしくは商業に関する科目と科目「産業社会と人間」を合わせて20単位以上修得（見込みを含む）の人 ・学習成績概評がA段階以上の人 ・次の(ア)～(ウ)のうち2つ以上を取得している人 (ア)日商簿記2級以上または全商簿記1級（会計（商業簿記を含む）又は原価計算） (イ)英検準2級以上 (ウ)経済産業省基本情報技術者試験 又は全商情報処理検定1級(ビジネス情報部門又はプログラミング部門)
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人
備 考	合格者のうち，希望者には入学前準備教育を用意しています。 （詳細については32ページを参照してください。）

1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜 1－(2)

〔情報学部 1／1〕

学 部	情報学部	
学 科	情報科学科	
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠 10 名	
出 願 期 間	令和 7 年 9 月 1 日 (月) から 令和 7 年 9 月 5 日 (金) まで 《最終日の17時までの必着とします。》	
選 抜 期 日	第一次選抜	令和 7 年 9 月 20 日 (土)
	第二次選抜	令和 7 年 10 月 4 日 (土)
	予 備 日	令和 7 年 10 月 18 日 (土)
選 抜 方 法 等	第一次選抜	1 基礎学力を問う試験（「英語」，「『数学』もしくは『数学・情報』」） （配点：100点×2） 2 書類審査（配点：200点） 『数学』の出題範囲は「数学Ⅰ，数学Ⅱ」とします。 「英語」，「『数学』もしくは『数学・情報』」の得点がそれぞれ配点の50%に達しない場合は，原則として合格対象者から除外します。
	第二次選抜	＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞ 面接（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜での面接と第一次選抜の基礎学力を問う試験の結果を総合して決定します。	
配 点	第一次選抜 400，第二次選抜 500	
選 抜 方 針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 書類審査では，情報科学科で学ぶために必要な能力・適性などを判断します。 面接では，情報科学科で学ぶための論理的思考力・理解力・問題発見能力等を総合的に判断します。	
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。）の以下に示す専門教育に関する学科，総合学科を令和8年3月31日までに卒業見込みの人（特別支援学校の高等部，高等専門学校第3年次又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を令和8年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を満たす人 ・専門教育に関するいずれか1つの教科*の科目で合計20単位以上修得（見込みを含む）の人，もしくは専門教育に関するいずれか1つの教科*の科目と科目「産業社会と人間」を合わせて20単位以上修得（見込みを含む）の人 ※ 専門教育に関する教科の範囲は，情報，工業，商業及び農業，水産，家庭，看護，福祉，体育，音楽，美術，英語，理数とする。	
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人	
備 考	1 『数学・情報』は，『数学』との共通問題（配点の約3分の2）と情報の問題（配点の約3分の1）からなります。（Q&Aも参照してください。） 2 合格者のうち，希望者には入学前準備教育を用意しています。（詳細については32ページを参照してください。） 3 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。 4 同点者の取扱い：面接の得点が高い志願者を上位とします。 なお，面接の得点も同点である場合には，基礎学力を問う試験のうち，「『数学』もしくは『数学・情報』」が高い志願者を上位とします。	

1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜 1－(3)

[工学部 1/7]

学 部	工学部	
学 科	化学バイオ工学科	
募 集 人 員	全学科枠 6 名	
出 願 期 間	令和 7 年 9 月 1 日 (月) から 令和 7 年 9 月 5 日 (金) まで 《最終日の17時までの必着とします。》	
選 抜 期 日	第一次選抜	令和 7 年 9 月 20 日 (土)
	第二次選抜	令和 7 年 10 月 4 日 (土)
	予 備 日	令和 7 年 10 月 18 日 (土)
選 抜 方 法 等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「化学」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「化学」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「化学」…化学基礎・化学の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞ 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配 点	合計 600（第一次選抜 300，第二次選抜 300）	
選 抜 方 針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，化学バイオ工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出 願 資 格	次のいずれかに該当する人 (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了又は令和8年3月31日までに修了見込みの人 (3) 学校教育法施行規則第150条*の規定により，高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人又は令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの人 ※「学校教育法施行規則第150条の規定」は10ページを参照	
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人	
備 考	1 『全学科枠』と『専門学科及び総合学科枠』の併願はできません。 2 出願後は枠の変更はできません。 3 合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については32ページを参照してください。） 4 環境応用化学コース及びバイオ応用工学コースへのコース分けを1年次末に行い，各コースへの配属は2年次の始めとなります。 5 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜 1－(4)

[工学部 2/7]

学 部	工学部	
学 科	数理システム工学科	
募 集 人 員	全学科枠 2 名	
出 願 期 間	令和 7 年 9 月 1 日 (月) から 令和 7 年 9 月 5 日 (金) まで 《最終日の17時までの必着とします。》	
選 抜 期 日	第一次選抜	令和 7 年 9 月 20 日 (土)
	第二次選抜	令和 7 年 10 月 4 日 (土)
	予 備 日	令和 7 年 10 月 18 日 (土)
選 抜 方 法 等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「物理」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」…物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞ 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配 点	合計 600（第一次選抜 300，第二次選抜 300）	
選 抜 方 針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，数理システム工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出 願 資 格	次のいずれかに該当する人 (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了又は令和8年3月31日までに修了見込みの人 (3) 学校教育法施行規則第150条*の規定により，高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人又は令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの人 ※「学校教育法施行規則第150条の規定」は10ページを参照	
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人	
備 考	1 『全学科枠』と『専門学科及び総合学科枠』の併願はできません。 2 出願後は枠の変更はできません。 3 合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については32ページを参照してください。） 4 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜 1－(5)

[工学部 3 / 7]

学 部	工学部	
学 科	機械工学科	
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠 2 名	
出 願 期 間	令和 7 年 9 月 1 日 (月) から 令和 7 年 9 月 5 日 (金) まで 《最終日の17時までの必着とします。》	
選 抜 期 日	第一次選抜	令和 7 年 9 月 20 日 (土)
	第二次選抜	令和 7 年 10 月 4 日 (土)
	予 備 日	令和 7 年 10 月 18 日 (土)
選 抜 方 法 等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「物理」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」…物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞ 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配 点	合計 600（第一次選抜 300，第二次選抜 300）	
選 抜 方 針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，機械工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。）の工業に関する学科，総合学科を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人で，次の条件を全て満たす人 ・学習成績概評がA段階以上の人 ・工業に関する科目を20単位以上修得（見込みを含む）の人 （「工業に関する科目」とは，教科「工業」に属する科目のことを指します。）	
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人	
備 考	1 合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。（詳細については32ページを参照してください。） 2 宇宙・環境コース，知能・材料コース及び電気機械システムコースへのコース分けを2年次末に行い，各コースへの配属は3年次の始めとなります。 3 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜 1－(6)

[工学部 4／7]

学 部	工学部	
学 科	電気電子工学科	
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠 2 名	
出 願 期 間	令和 7 年 9 月 1 日 (月) から 令和 7 年 9 月 5 日 (金) まで 《最終日の17時までの必着とします。》	
選 抜 期 日	第一次選抜	令和 7 年 9 月 20 日 (土)
	第二次選抜	令和 7 年 10 月 4 日 (土)
	予 備 日	令和 7 年 10 月 18 日 (土)
選 抜 方 法 等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「物理」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」…物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞ 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：300点） ※面接の得点が配点の60%に満たない場合は，合格対象者から除外します。
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配 点	合計 600（第一次選抜 300，第二次選抜 300）	
選 抜 方 針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，電気電子工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。）の工業に関する学科，総合学科を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人で，次の条件を全て満たす人 ・学習成績概評がA段階以上の人 ・工業に関する科目を20単位以上修得（見込みを含む）の人 （「工業に関する科目」とは，教科「工業」に属する科目のことを指します。）	
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人	
備 考	1 合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については32ページを参照してください。） 2 情報エレクトロニクスコース及びエネルギー・電子制御コースへのコース分けを1年次末に行い，各コースへの配属は2年次の始めとなります。 3 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜 1-(7)

[工学部 5/7]

学 部	工学部	
学 科	電子物質科学科	
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠 3 名	
出 願 期 間	令和 7 年 9 月 1 日 (月) から 令和 7 年 9 月 5 日 (金) まで 《最終日の17時までの必着とします。》	
選 抜 期 日	第一次選抜	令和 7 年 9 月 20 日 (土)
	第二次選抜	令和 7 年 10 月 4 日 (土)
	予 備 日	令和 7 年 10 月 18 日 (土)
選 抜 方 法 等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「物理」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」…物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞ 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配 点	合計 600（第一次選抜 300，第二次選抜 300）	
選 抜 方 針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，電子物質科学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。）の工業に関する学科，総合学科を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人で，次の条件を全て満たす人 ・学習成績概評がA段階以上の人 ・工業に関する科目を20単位以上修得（見込みを含む）の人 （「工業に関する科目」とは，教科「工業」に属する科目のことを指します。）	
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人	
備 考	1 合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。（詳細については32ページを参照してください。） 2 電子物理デバイスコース及び材料エネルギー化学コースへのコース分けを1年次末に行い，各コースへの配属は2年次の始めとなります。 3 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜 1－(8)

〔工学部 6／7〕

学 部	工学部	
学 科	化学バイオ工学科	
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠 2 名	
出 願 期 間	令和 7 年 9 月 1 日 (月) から 令和 7 年 9 月 5 日 (金) まで 《最終日の17時までの必着とします。》	
選 抜 期 日	第一次選抜	令和 7 年 9 月 20 日 (土)
	第二次選抜	令和 7 年 10 月 4 日 (土)
	予 備 日	令和 7 年 10 月 18 日 (土)
選 抜 方 法 等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「化学」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「化学」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「化学」…化学基礎・化学の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞ 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配 点	合計 600（ 第一次選抜 300， 第二次選抜 300 ）	
選 抜 方 針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，化学バイオ工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。）の工業に関する学科，総合学科を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人で，次の条件を全て満たす人 ・学習成績概評がA段階以上の人 ・工業に関する科目を20単位以上修得（見込みを含む）の人 （「工業に関する科目」とは，教科「工業」に属する科目のことを指します。）	
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人	
備 考	『専門学科及び総合学科枠』に該当する人が『全学科枠』を選択して出願することも可能です。ただし『全学科枠』と『専門学科及び総合学科枠』の併願はできません。 - 出願後は枠の変更はできません。 - 合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。（詳細については32ページを参照してください。） - 環境応用化学コース及びバイオ応用工学コースへのコース分けを1年次末に行い，各コースへの配属は2年次の始めとなります。 - 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜 1－(9)

[工学部 7/7]

学 部	工学部	
学 科	数理システム工学科	
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠 2 名	
出 願 期 間	令和 7 年 9 月 1 日 (月) から 令和 7 年 9 月 5 日 (金) まで 《最終日の17時までの必着とします。》	
選 抜 期 日	第一次選抜	令和 7 年 9 月 20 日 (土)
	第二次選抜	令和 7 年 10 月 4 日 (土)
	予 備 日	令和 7 年 10 月 18 日 (土)
選 抜 方 法 等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「英語」，「数学」，「物理」）（配点：100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は， 「数学」…数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」…物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞ 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：300点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配 点	合計 600（第一次選抜 300，第二次選抜 300）	
選 抜 方 針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，数理システム工学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。	
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。）の工業に関する学科，総合学科を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人で，次の条件を全て満たす人 ・学習成績概評がA段階以上の人 ・工業に関する科目を20単位以上修得（見込みを含む）の人 （「工業に関する科目」とは，教科「工業」に属する科目のことを指します。）	
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人	
備 考	『専門学科及び総合学科枠』に該当する人が『全学科枠』を選択して出願することも可能です。ただし『全学科枠』と『専門学科及び総合学科枠』の併願はできません。 - 出願後は枠の変更はできません。 - 合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。（詳細については32ページを参照してください。） - 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜 1－(10)

〔農学部 1／1〕

学 部	農学部	
学 科	生物資源科学科	
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠 12 名	
出 願 期 間	令和 7 年 9 月 1 日（月） から 令和 7 年 9 月 5 日（金） まで 《最終日の17時までの必着とします。》	
選 抜 期 日	第一次選抜	令和 7 年 9 月 20 日（土）
	第二次選抜	令和 7 年 10 月 4 日（土）
	予 備 日	令和 7 年 10 月 18 日（土）
選抜方法等	第一次選抜	基礎学力を問う試験（「化学基礎」，「生物基礎」）（配点：100点×2）
	第二次選抜	＜第一次選抜の合格者に対して行います。＞ 面接（口頭試問を含む）を行います。（配点：200点）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
配 点	合計 400（ 第一次選抜 200， 第二次選抜 200 ）	
選 抜 方 針	基礎学力を問う試験では，大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 面接では，生物資源科学科で学ぶための農学の素養等を総合的に判断します。	
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の農業，工業，商業及び水産に関する学科，総合学科を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人で，高等学校における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上，もしくはこれに相当する成績を修めている人 【注】高等学校の農業，工業，商業及び水産に関する学科の指定については，高等学校の総合学科において，各々，該当する教科の科目を20単位以上修得（見込みを含む）の人を含みます。	
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人	
備 考	1 合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については32ページを参照してください。） 2 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日にも実施します。第一次選抜期日に選抜を実施しない場合は，第一次選抜を第二次選抜期日に，第二次選抜を予備日に実施します。第一次選抜期日に選抜を実施し，第二次選抜期日に選抜を実施しない場合は，予備日に第二次選抜を実施します。措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。	

1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜 1－(11)

〔グローバル共創科学部 1／3〕

学 部	グローバル共創科学部
学 科	グローバル共創科学科
募 集 人 員	全学科枠 20 名
出 願 期 間	令和 7 年 9 月 1 日 (月) から 令和 7 年 9 月 5 日 (金) まで 《最終日の17時までの必着とします。》
選 抜 期 日	令和 7 年 10 月 4 日 (土) 予備日： 令和 7 年 10 月 18 日 (土)
選抜方法等	1 聴講・論述試験（配点：100点） 講義（45分程度）を受講して、その内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）してもらいます。なお、講義の内容の一部には英語コミュニケーションを含みます。 2 面接（配点：100点） 3 聴講・論述試験の成績と面接の結果を総合して選抜します。 ※ グローバル共創科学部受験用の「活動歴報告書」を他の書類とともに提出してください。面接の参考資料とします。（詳細は30ページを参照してください。）
配 点	合計 200（聴講・論述試験 100，面接 100）
選 抜 方 針	聴講・論述試験では、文系・理系の基礎学力，思考力，発想力等について判断します。 面接では、地球規模の課題から地域社会の課題に至る様々な社会的課題の解決に取り組み，より良い未来社会の実現に貢献することへの意欲や，文系・理系双方への意欲，自らが熱心に取り組んできた活動への意欲等を総合的に判断します。
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人（高等専門学校第3年次を令和8年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を全て満たす人 （1）高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上の人 （2）次の英語力試験のいずれかを満たしている人 ・日本英語検定協会実用英語技能検定（英検）準2級以上合格 ・TOEFL iBT Test® 40点以上 ・TOEIC® Listening and Reading Test 及びTOEIC® Speaking and Writing Tests 625点以上 （TOEIC S&W のスコアを2.5倍して TOEIC L&R に合算したスコアとする。）
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人
備 考	1 『全学科枠』，『専門学科及び総合学科枠』及び『社会人枠』の併願はできません。 （出願資格を満たすいずれか1つの枠を選択して出願してください。） 2 出願後は枠の変更はできません。 3 合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 （詳細については32ページを参照してください。） 4 国際地域共生学コース，生命圏循環共生学コース及び総合人間科学コースへのコース分けを2年次末に行い，各コースへの配属は3年次の始めとなります。 5 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日に実施します。

1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜 1－(12)

〔グローバル共創科学部 2／3〕

学 部	グローバル共創科学部
学 科	グローバル共創科学科
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠 8 名
出 願 期 間	令和 7 年 9 月 1 日 (月) から 令和 7 年 9 月 5 日 (金) まで 《最終日の17時までの必着とします。》
選 抜 期 日	令和 7 年 10 月 4 日 (土) 予備日： 令和 7 年 10 月 18 日 (土)
選抜方法等	1 聴講・論述試験（配点：100点） 講義（45分程度）を受講して、その内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）してもらいます。なお、講義の内容の一部には英語コミュニケーションを含みます。 2 面接（配点：100点） 3 聴講・論述試験の成績と面接の結果を総合して選抜します。 ※ グローバル共創科学部受験用の「活動歴報告書」を他の書類とともに提出してください。面接の参考資料とします。（詳細は30ページを参照してください。）
配 点	合計 200（聴講・論述試験 100，面接 100）
選 抜 方 針	聴講・論述試験では、文系・理系の基礎学力，思考力，発想力等について判断します。 面接では、地球規模の課題から地域社会の課題に至る様々な社会的課題の解決に取り組み，より良い未来社会の実現に貢献することへの意欲や，文系・理系双方への意欲，自らが熱心に取り組んできた活動への意欲等を総合的に判断します。
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の以下に示す専門教育に関する学科，総合学科を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人（特別支援学校の高等部，高等専門学校第3年次または文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を令和8年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を全て満たす人 （1）高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上の人 （2）専門教育に関する1つ以上の教科*の科目で合計20単位以上修得（見込みを含む）の人 ※ 専門教育に関する教科の範囲は，情報，工業，商業及び農業，水産，家庭，看護，福祉，体育，音楽，美術，英語，理数とする。 （3）次の英語力試験のいずれかを満たしている人 ・日本英語検定協会実用英語技能検定（英検）準2級以上合格 ・TOEFL iBT Test® 40点以上 ・TOEIC® Listening and Reading Test 及びTOEIC® Speaking and Writing Tests 625点以上（TOEIC S&W のスコアを2.5倍して TOEIC L&R に合算したスコアとする。）
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人
備 考	1 『全学科枠』，『専門学科及び総合学科枠』及び『社会人枠』の併願はできません。（出願資格を満たすいずれか1つの枠を選択して出願してください。） 2 出願後は枠の変更はできません。 3 合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。（詳細については32ページを参照してください。） 4 国際地域共生学コース，生命圏循環共生学コース及び総合人間科学コースへのコース分けを2年次末に行い，各コースへの配属は3年次の始めとなります。 5 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日に実施します。

1 大学入学共通テストを課さない総合型選抜 1－(13)

〔グローバル共創科学部 3／3〕

学 部	グローバル共創科学部
学 科	グローバル共創科学科
募 集 人 員	社会人枠 若干名
出 願 期 間	令和 7 年 9 月 1 日 (月) から 令和 7 年 9 月 5 日 (金) まで 《最終日の17時までの必着とします。》
選 抜 期 日	令和 7 年 10 月 4 日 (土) 予備日： 令和 7 年 10 月 18 日 (土)
選抜方法等	1 聴講・論述試験（配点：100点） 講義（45分程度）を受講して、その内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）してもらいます。なお、講義の内容の一部には英語コミュニケーションを含みます。 2 面接（配点：100点） 3 聴講・論述試験の成績と面接の結果を総合して選抜します。 ※ グローバル共創科学部受験用の「活動歴報告書」を他の書類とともに提出してください。面接の参考資料とします。（詳細は30ページを参照してください。）
配 点	合計 200（聴講・論述試験 100，面接 100）
選 抜 方 針	聴講・論述試験では、文系・理系の基礎学力，思考力，発想力等について判断します。 面接では，地球規模の課題から地域社会の課題に至る様々な社会的課題の解決に取り組み，より良い未来社会の実現に貢献することへの意欲や，文系・理系双方への知識，判断力，意欲等を総合的に判断します。
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した人（通常の課程による12年の学校教育を修了した人を含む）または学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人で，次の条件を全て満たす人 （1）令和8年4月1日において21歳以上の者で，3年以上の社会人経験を有する人または3年を経過することが見込まれる人 ※ 自営業者，主婦・主夫はその期間を社会人経験とみなします。 ※ 3年以上の社会人経験を有する人には，現に就業していない人を含みます。 ※ 3年以上の社会人経験には，定時制・通信制・夜間学校に在学した期間に定職（恒常的なアルバイトを含む）に就いていた，または現に就いている人を含みます。 ※ すべての職歴等の証明書類が必要です。 （2）次の英語力試験のいずれかを満たしている人 ・日本英語検定協会実用英語技能検定（英検）準2級以上合格 ・TOEFL iBT Test® 40点以上 ・TOEIC® Listening and Reading Test 及びTOEIC® Speaking and Writing Tests 625点以上（TOEIC S&W のスコアを2.5倍して TOEIC L&R に合算したスコアとする。）
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人
備 考	1 『全学科枠』，『専門学科及び総合学科枠』及び『社会人枠』の併願はできません。（出願資格を満たすいずれか1つの枠を選択して出願してください。） 2 出願後は枠の変更はできません。 3 合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。（詳細については32ページを参照してください。） 4 国際地域共生学コース，生命圏循環共生学コース及び総合人間科学コースへのコース分けを2年次末に行い，各コースへの配属は3年次の始めとなります。 5 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日に実施します。

2 大学入学共通テストを課す総合型選抜 2-(1)

[理学部 1/1]

学 部	理 学 部															
学 科	地球科学科															
募 集 人 員	全学科枠 8 名															
出 願 期 間	令和 8 年 1 月 26 日（月） から 令和 8 年 1 月 30 日（金） まで 《最終日の17時までの必着とします。》															
選 抜 期 日	令和 8 年 2 月 7 日（土）															
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接（集団面接）を課します。（ 配点 200 ） 2 大学入学共通テストの成績と面接の結果を総合して選抜します。															
	大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目（ 配点計 625 ）															
	4 教 科 6 科 目															
	国 語	地 理 歴 史 , 公 民				数 学		理 科				外 国 語		情 報		
						①	②									
						数 学 I , 数 学 A	数 学 II , 数 学 B , 数 学 C					英 語 (リスニングを含む)	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
配 点						必須	必須	2 つ 選 択				1 つ 選 択 (※1)				必須
配 点 合 計						100	100	100× 2				200				25
選 抜 方 針	（※1）○『英語』を選択する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』を選択した場合は、「リーディング100点満点」と「リスニング100点満点」をそれぞれ「リーディング150点満点」と「リスニング50点満点」に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング100点満点」を200点満点とします。															
選 抜 方 針	大学入学共通テストにおいて、大学で学ぶに際して必要となる基礎学力、特に理数系科目と外国語の学力の達成度を判断します。 面接では、地球科学に関して興味のある分野や事柄、これまで熱心に行ってきた活動や体験、大学における学習計画、将来の抱負などを中心に質疑応答を行い、それらを通じて論理性や表現力、理解力などを評価します。															
出 願 資 格	次のいずれかに該当する人 （1）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人 （2）通常の課程による12年の学校教育を修了又は令和8年3月31日までに修了見込みの人 （3）学校教育法施行規則第150条*の規定により、高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人又は令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの人 ※「学校教育法施行規則第150条の規定」は10ページを参照															
出 願 要 件	合格した場合、入学を確約できる人															
備 考	_____															

Ⅵ 選 抜 日 時

大学入学共通テストを課さない総合型選抜			
人文社会科学部		令和 7 年 11 月 22 日 (土)	10 : 00～
情 報 学 部 工 学 部 農 学 部	第一次選抜	令和 7 年 9 月 20 日 (土)	9 : 00～
	第二次選抜	令和 7 年 10 月 4 日 (土)	
	予 備 日	令和 7 年 10 月 18 日 (土)	
グローバル共創科学部		令和 7 年 10 月 4 日 (土)	9 : 30～
	予 備 日	令和 7 年 10 月 18 日 (土)	

※天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は、予備日を含めた日程に繰下げて実施します。

大学入学共通テストを課す総合型選抜		
理 学 部	令和 8 年 2 月 7 日 (土)	9 : 00～

Ⅶ 試 験 場

学 部	実施場所	所 在 地	交 通 機 関
人文社会科学部	静岡大学 人文社会科学部	静岡市駿河区 大谷836	くしずてつジャストラインバス > 美和大谷 (みわおおや) 線 J R 東海 静岡駅北口バスターミナル ⑧番Bのりばから 『静岡大学』行き → 「静岡大学」下車 『静岡大学経由 東大谷』行き → 「静岡大学」下車 『静岡大学経由 ふじのくに地球環境史ミュージアム』行き → 「静岡大学」下車 上記以外の『東大谷』行き → 「片山」下車 上記以外の『ふじのくに地球環境史ミュージアム』行き → 「片山」下車 ○ バス乗車所要時間：約30分 「静岡大学」下車：試験場まで徒歩約5分～15分 「片山」下車：試験場まで徒歩約15分～25分
理 学 部	静岡大学 理 学 部		
農 学 部	静岡大学 農 学 部		
グ ロ ー バ ル 共 創 科 学 部	静岡大学 共通教育棟		
情 報 学 部	静岡大学 情報学部	浜松市中央区 城北3-5-1	< 遠鉄バス > J R 東海 浜松駅北口バスターミナル ⑮または⑯番のりばから 『気賀・三ヶ日・奥山』行き等 全路線 → 「静岡大学」下車 ○ 全所要時間：約20分
工 学 部	静岡大学 工 学 部		

注1) 試験場までの所要時間は交通事情により異なりますので、十分な余裕をもって出かけてください。また、天候不良や事故等により、利用予定の交通機関に乱れが生じるおそれのある場合には、受験に支障のないよう少しでも早く受験地に到着するようにしてください。

注2) 定期運行している交通機関の事故等により、各試験で定められた集合時刻に間に合わない場合は、直ちに、29ページの「3 出願先」の担当係に連絡するとともに、交通機関において、これを証明する書類の交付を受けてください。

注3) 試験開始(理学部は集合時刻から)30分以上の遅刻者の受験は原則として認められません。ただし、志望する学部より別途指示がある場合には、この限りではありません。なお、上記注2による遅刻者は、本学が定める基準により、受験を認めることがあります。

注4) 人文社会科学部、情報学部(第一次選抜)、工学部(第一次選抜)、農学部(第一次選抜)及びグローバル共創科学部については、全ての試験を受験してください。**一部のみの受験は認められません。**

注5) 地震等の災害、天候不良及び交通機関の事故等により、所定の試験日程による試験実施が困難になる不測の事態が発生した場合は、試験開始時刻の繰り下げ等の措置を行うことがあります。措置の詳細については、本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。

注6) 理学部受験者は、試験当日、本学の『受験票・写真票』とともに、『大学入学共通テスト受験票』を必ず持参してください。

VIII 合 格 発 表

- 1 下記の日時・場所に、掲示するとともに、それぞれの受験者全員に郵送にて通知します。

大学入学共通テストを課さない総合型選抜		
人文社会科学部	令和 7 年 12 月 1 日 (月) 16:00	共通教育L棟掲示板 (静岡キャンパス)
農学部	第一次選抜 令和 7 年 9 月 26 日 (金) 16:00	
	最終合格発表 令和 7 年 11 月 4 日 (火) 16:00	
グローバル共創科学部	令和 7 年 11 月 4 日 (火) 16:00	
情報学部	第一次選抜 令和 7 年 9 月 26 日 (金) 16:00	学生支援棟掲示板 (浜松キャンパス)
工学部	最終合格発表 令和 7 年 11 月 4 日 (火) 16:00	共通教育L棟掲示板 (静岡キャンパス) 学生支援棟掲示板 (浜松キャンパス)

大学入学共通テストを課す総合型選抜		
理学部	令和 8 年 2 月 10 日 (火) 10:00	共通教育L棟掲示板 (静岡キャンパス)

- 2 本学学部入試ウェブサイトにも「合格者受験番号リスト」を掲載します。(第一次選抜を除く)
閲覧できる期間は、合格発表日時から入学手続日までです。

[学部入試ウェブサイト] <https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>

- 3 情報学部、工学部、農学部において、第一次選抜期日を変更した場合は、第一次選抜合格発表日も変更します。

※ 受験票・写真票についての注意

- (1) 受験票・写真票は、インターネット出願時に入力したデータを基に作成します。
- (2) 受験票・写真票及び受験上の注意等を、大学入学共通テストを課さない総合型選抜は令和7年9月12日(金)(人文社会科学部の志願者は令和7年11月14日(金))頃までに、大学入学共通テストを課す総合型選抜は令和8年2月4日(水)頃までに、志願者あてに【速達】で郵送します。届かない場合は、至急、入試課まで連絡してください。
- (3) 届いた受験票・写真票の記載事項を確認し、誤りがあった場合は、至急、入試課まで連絡してください。
- (4) 受験票・写真票の写真欄に写真(4cm×3cm、白黒・カラーいずれでも可)を貼って、試験日当日に持参してください。受験票・写真票は切り離さないでください。

※ 検定料等の返還等について

払込後の入学検定料及び入試情報開示手数料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

1 検定料等の返還請求ができる場合

- ①検定料等を払い込んだが本学に出願しなかった場合
- ②検定料等を誤って二重に払い込んだ場合
- ③出願書類、出願要件に不備があり、出願が受理されなかった場合
- ④出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

2 返還する検定料等の金額

志願者本人の申し出により、上記1の①から③については17,000円、④については「静岡大学授業料等料金体系規則」に基づき、13,000円を返還します。インターネット出願時に入試情報開示手数料を併せて払い込んだ場合は、検定料の返還請求ができる場合のみ、検定料返還額に加えて700円を返還します。なお、返還に係る振込手数料は、請求者の負担とします。

3 返還請求の方法

上記1の①または②に該当する場合は、便せん等を使って、次の1～9を明記した検定料等返還請求書を作成して、必ず「入金確認メール」を印刷したものを添付して、令和8年2月27日(金)〔必着〕までに静岡大学入試課（〒422-8529 静岡市駿河区大谷836）へ郵送してください。期限を過ぎての返還請求は受け付けません。

また、③の場合は出願書類返却時に、④の場合は出願無資格となった理由等の通知時に「検定料等返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

静岡大学入学検定料等返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 選抜区分（総合型選抜）
- 3 整理番号
- 4 出願しようとした学部名
- 5 氏名（フリガナ）
- 6 現住所
- 7 連絡先電話番号
- 8 返還請求額
- 9 返還金振込先
 - ・金融機関名（金融機関コード）、支店名（支店コード）
 - ・預金種別（当座・普通）、口座番号
 - ・口座名義人（フリガナ）
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

<大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置について>

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について、志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除します。詳しくは、静岡大学学部入試専用サイト(<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>)をご覧ください。

IX 出 願 手 続

1 出 願 期 間 《 最終日の17時までの書類必着に限ります。》

大学入学共通テストを課さない総合型選抜（人文社会科学部以外）	
令和7年9月1日（月）から令和7年9月5日（金）まで 《 インターネット出願登録期間 》 令和7年8月25日（月）9時～令和7年9月5日（金）17時	
大学入学共通テストを課さない総合型選抜（人文社会科学部）	
令和7年11月4日（火）から令和7年11月10日（月）まで 《 インターネット出願登録期間 》 令和7年10月28日（火）9時～令和7年11月10日（月）17時	
大学入学共通テストを課す総合型選抜	
令和8年1月26日（月）から令和8年1月30日（金）まで 《 インターネット出願登録期間 》 令和8年1月19日（月）9時～令和8年1月30日（金）17時	

2 出 願 方 法

- (1) 静岡大学インターネット出願サイトにて、上記出願期間内に申し込んでください。
- (2) 出願書類を取り揃え、インターネットにて出願及び検定料の納入後に出力可能となる宛名票を貼付した封筒（市販の角形2号封筒(240×332mm)）により、上記期間内に必着するように【書留速達】で期日を指定するなどして送付してください。 ※検定料：17,000円
- (3) 書類不備のものは受け付けません。また、提出された書類は返却しません。

3 出 願 先

学 部	出 願 先	担当係	電話番号
人文社会科学部	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学学務部入試課	人文社会科学部学務係	054-238-4486
農 学 部		農 学 部 学 務 係	054-238-4815
グローバル共創科学部		グローバル共創科学部学務係	054-238-3715
理 学 部	〒422-8799 静岡南郵便局留 静岡大学入学試験事務室	理 学 部 学 務 係	054-238-4861
情 報 学 部	〒432-8561 浜松市中央区城北三丁目5番1号 静岡大学浜松地区入学試験事務室	情報学部教務係	053-478-1510
工 学 部		工 学 部 教 務 係	053-478-1010

4 出 願 書 類 等 < 郵送による提出が必要な出願関係書類 >

1. インターネット出願サイトに登録後、出願サイトにて出力できる書類

1 出願確認票 (総合型選抜用)	(1) インターネット出願の際に入力した内容に誤りがないか確認してください。 (2) 大学入学共通テストを課す総合型選抜への出願の場合は、大学入学共通テスト成績請求チケット（国公立総合型選抜用）を貼ってください。 成績請求チケットは、大学入学共通テスト出願サイトのマイページ上で取得し、印刷してください。
2 受験票送付用 封筒宛名ラベル	(受験票返送用) 確実に受験票が受け取る住所の宛名ラベルを使用（出願時に登録した住所以外への送付を希望する場合は、右のラベルへ住所等を記入）し、市販の長形3号の封筒(120×235mm)に貼付し、410円分の切手を貼ってください。 ※封筒の封はしないこと。収入印紙は切手として使用できません。

3 出願封筒用宛名ラベル	(出願書類送付用) インターネット出願時に入力した内容と相違ないか確認し、出願書類及び注意事項を確認のうえ、市販の角形2号の封筒(240×332mm)に貼付し、出願書類を入れて送付してください。
--------------	--

2. 本学学部入試ウェブサイトよりダウンロードして準備する書類
(学部入試サイト:<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/boshu/>)

1 自己推薦書	志願者本人が自筆で記入してください。(ボールペンまたは万年筆) 自己推薦書の注意書きの指示に従ってください。
2 課題レポート	(人文社会科学部 経済学科に出願する人のみ、提出してください。) 志願者本人が自筆で作成してください。(ボールペンまたは万年筆)
3 活動歴報告書	(グローバル共創科学部に出願する人のみ、提出してください。) A4用紙で表紙を除いて2ページ以内に必ず収めること。字数の制限はなく、志願者本人の自筆(ボールペンまたは万年筆を使用)の他、パソコン等での作成も可とする。左側をホッチキスで止め、他の出願書類とともに提出すること。 活動歴報告書には、これまで熱心に取り組んできた学業・学業以外の各種活動の経歴と成果等を記述すること。「自己推薦書」に書いた内容について、さらに具体的に示すこと。 例として、以下のような資料(表彰状、新聞等の記事、証明書等)がある場合には、そのコピーを同封すること(活動歴報告書には直接貼付せず、全てA4サイズに調整した上で、活動歴報告書とは別に同封すること。なお、同封された資料は返却しない。) ・スポーツ等の課外活動での成果を示す資料 ・組織のリーダー的役割(生徒会長、文化祭実行委員長など)の経験を証明する書類 ・各種ボランティア等の社会貢献活動での成果を示す資料 ・これまでに作成した論文、作品、発表等の内容を示す資料(現物は不可) ・その他、活動内容を客観的に証明する資料

3. その他、出願に必要な書類

1 調査書等	ア 在籍(又は在籍した)学校の長が令和7年4月以降に作成したもの 【注】厳封したものを提出してください。 イ 廃校、被災その他の事情により在籍(又は在籍した)学校の長が作成する「調査書」が得られない場合は、調査書を準備できない理由書と卒業証明書・成績通信簿・その他、入学志願者が提出できる書類 ウ 本人が被災した場合により上記イの書類を整えられない場合は、在籍(又は在籍した)学校を所管する教育委員会、知事又は在籍(又は在籍した)学校の長が作成したこれに関する証明書 エ 高等学校卒業程度認定試験合格者は、合格成績証明書(合格見込み者は、合格見込成績証明書) なお、免除された科目がある場合は、合格成績証明書(合格見込み者は、合格見込成績証明書)に加え、在籍(又は在籍した)学校の長が発行した当該科目の成績証明書又は調査書を提出してください。 オ 高等学校卒業程度認定審査の合格者は、合格証明書
2 合格証明書類	(人文社会科学部 経済学科に出願する人のみ、提出してください。) 次の(ア)～(ウ)のうち2つ以上の合格を証明できる書類(合格証書のコピー) (ア) 日商簿記2級以上又は 全商簿記1級(会計(商業簿記を含む)又は原価計算) (イ) 英検準2級以上 (ウ) 経済産業省基本情報技術者試験又は 全商情報処理検定1級(ビジネス情報部門又はプログラミング部門)
3 高等学校の成績通信簿	(情報学部 情報科学科に出願する人のみ、提出してください。) 成績通信簿(1・2・3年次)のコピー(任意)
4 英語力証明書	(グローバル共創科学部に出願する人のみ、提出してください。) 英語力試験の証明書(合格証書またはスコアレポート)のコピー
5 職歴(在職)証明書	(グローバル共創科学部 社会人枠に出願する人のみ、提出してください。) 所属長の証明(様式は自由。本学所定の「職歴(在職)証明書」を使用しても差し支えありません。)、身分証明書のコピー等を提出してください。

☆ 入 学 手 続（概 要）

入学手続に関する詳細は、合格者に別途通知します。

		【共通テストを課さない総合型選抜】		【共通テストを課す総合型選抜】	
学 部		情報学部 工学部 農学部 グローバル共創科学部	人文社会科学部		理学部
入学手続方法		入学手続は、原則として郵送「書留速達」とします。 (手続締切日の17時必着)			
入学手続締切		令和7年11月14日（金）	令和7年12月12日（金）	令和8年2月17日（火）	
納 付 金 の 納 入	入 学 料	282,000 円			
	授 業 料 〔令和7年度実績額〕	半期分 267,900 円 (年 額 535,800 円)			
	【注】 1 前期分の授業料は、令和8年4月1日から同年4月30日までに納入してください。 2 入学料はいかなる理由があっても返還しません。 3 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。 4 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。				
留 意 事 項		1 入学手続きの際は、大学入学共通テスト出願サイトのマイページ上で取得した『国公立大学入学確認票』（大学入学共通テストを課す総合型選抜を受験した人に限る。）が必要となります。 2 総合型選抜合格者が特別の事情により入学を辞退しようとするときは、その理由を明記した入学辞退届（本学所定の様式：本人が署名したもの。）を、入学手続期限の前日までに提出することが必要となります。 3 総合型選抜合格者は、本学の定める手続きにより入学を辞退した場合を除き、一般選抜（前期日程・後期日程）を受験しても合格者とはなりません。			

《 ノート型パーソナルコンピュータの共同購入について 》

次の学部・学科等では、ノート型パーソナルコンピュータの利用が必須となりますので、入学時に各学部・学科等の選定機種（以下予定価格、ソフトを含む）の共同購入を推奨しています。

詳細は、合格者に連絡をしますが、予めご案内します。（問い合わせは、各学部までお願いします。）

なお、この他の学部・学科等においてもオンライン授業の受講等のため、各自のパーソナルコンピュータを用意することを推奨します。

- 情報学部 税込み20～25万円程度（動産保険・代替機貸出を含む）
- 工学部 税込み24万円程度（動産保険を含む）

☆「入学前準備教育」について

『大学入学共通テストを課さない総合型選抜』合格者に対する「入学前準備教育」について

大学入学共通テストを課さない総合型選抜は、年内には合格が決まります。でも、入学までの残り4～5か月間をムダに過ごしてしまうと、入学後すぐにつまずいてしまうことになり、せっかくスタートした大学生活がつまらないものになってしまいます。ほかの受験生より、ひと足早く合格できて良かったのではなく、ひと足早く大学生活の準備を始めるチャンスを得たと考えましょう。

静岡大学では、大学入学共通テストを課さない総合型選抜合格者に、入学までの数か月間を有意義に過ごしていただくための「入学前準備教育」をご用意します。ひとりでも多くの合格者が受講されることをお勧めします。

◆ 合格から入学までの流れ（一部予定を含みます。）

令和7年11月 4日（火）：合格発表日（人文社会科学部以外）

令和7年11月14日（金）：入学手続期限（人文社会科学部以外）

令和7年12月 1日（月）：合格発表日（人文社会科学部）

令和7年12月12日（金）：入学手続期限（人文社会科学部）

令和7年12月13日（土）：「プレ入学 オリエンテーション」（静岡キャンパスで実施予定）

令和7年12月14日（日）：「プレ入学 オリエンテーション」（浜松キャンパスで実施予定）

令和7年12月～令和8年3月：入学前準備教育（通信添削等を活用します。）

注：「プレ入学 オリエンテーション」は希望者参加で、強制ではありません。詳細は入学手続書類に同封します。

◆ 入学前準備教育の内容に関して（一部、変更になることがあります。）

- ・ 事前に教材等をお送りします。自学自習していただき、提出していただいた確認テストやレポート等を添削指導します。
- ・ 教材は、大学入学後に必要となる数学や物理の基礎学力を養成するもの、大学生に求められる分析力や表現力を養成するものなど複数をご用意する予定です。
（各学部学科によって内容は異なります。）

◆ 受講対象者

大学入学共通テストを課さない総合型選抜で合格された方の中で、入学前準備教育を希望される方に実施します。

ただし、**工学部、農学部及びグローバル共創科学部の合格者は、入学前準備教育を受講していただくことを原則とします。**（強制ではありませんので、入学前準備教育を受講しなくても合格が取り消されるようなことはありません。）

◆ 費用

受講費は受講者本人の負担となります。1講座あたり20,000円前後。各学部学科により、1講座ないし2講座になりますので、20,000円～40,000円になる予定です。また、「プレ入学 オリエンテーション」（13時開始、16時終了予定）に参加するための交通費等も参加者の負担になります。

☆ 総合型選抜 Q & A

全学共通 Q & A

Q1 総合型選抜とは、どのような選抜方法ですか？

A1 学力検査に偏ることなく、書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって、受験生の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に判定するきめ細かな選抜方法です。また、一定の条件を満たす限り、誰でも自らの意志で出願できる公募型自己推薦選抜です。

Q2 総合型選抜の特色を教えてください。

A2 筆記試験の結果だけでなく自己PR、志望学科で学ぶ意欲・適性等を評価しますので、進みたい道への意欲や経験をありのまま表現してください。

Q3 専門学科や総合学科でも、出願できますか？

A3 はい。できます。

人文社会科学部経済学科、情報学部情報科学科、工学部各学科、農学部生物資源科学科及びグローバル共創科学部には『専門学科及び総合学科枠』があります。

Q4 普通科の生徒でも、『専門学科及び総合学科枠』に出願できますか？

A4 静岡大学における『専門学科及び総合学科枠』は、専門学科及び総合学科の生徒への受験機会確保を目的として設置しています。そのため、普通科の生徒は、専門教育に関する教科の単位修得に関わらず、出願できません。

Q5 総合型選抜と学校推薦型選抜に併願できますか？

A5 はい。できます。ただし、本学の「総合型選抜」と「学校推薦型選抜」はそれぞれ「合格した場合に入学を確約できる」ことを求めています。

静岡大学では「多様な選抜」で「多様な人材」を求めています。

Q6 総合型選抜で入学した場合、他の選抜で入学した学生と入学後の学習に違いがありますか？

A6 学習プログラムに違いはありません。

基礎学力を補うためのプログラムや指導教員体制を完備しています。

Q7 今年度、高等学校卒業程度認定試験に合格したのですが、受験できますか？

A7 理学部及び工学部の化学バイオ工学科と数理システム工学科の『全学科枠』で出願できます。

情報学部 Q & A

Q1 どんな人が出願できますか？

A1 「出願資格」欄に示した資格を満たす人なら誰でも出願できます。是非、自己推薦してください。

Q2 成績通信簿の提出が任意になっていますが、提出しないために不利になるようなことはありませんか？

A2 成績通信簿は面接の参考として用います。この資料によって、普段の活動状況など高校在学中の活動をよりきめ細かに、かつ多面的に評価することが可能となり、受験者の潜在能力を含め、より客観的な評価ができるものと考えております。

ただし、あくまでも参考資料ですので、提出しないことによって不利になることはありません。

Q3 面接に対して何か準備が必要でしょうか？ またどんな点が評価されるのでしょうか？

A3 面接では、情報科学に関して興味のある分野や事柄、これまで熱心に行ってきた活動や体験、大学における学習計画、将来の抱負などを中心に質疑応答を行います。また、それらの質疑応答を通じて論理性や表現力、理解力などを評価します。

Q4 基礎学力を問う試験に「『数学』もしくは『数学・情報』」とありますが、数学と情報の両方を勉強しておかなければ不利になるのでしょうか？

A4 そのようなことはありません。『数学』を選択していれば数学の問題のみが出題されます。『数学・情報』では『数学』の問題の一部(配点の約3分の1)が情報の問題に置き換わっています。どちらで受験するかは試験問題を見てから決めることができます。

Q5 専門学科や総合学科(以下、専門学科等)の英語の学習内容でも基礎学力を問う試験に対応できますか？

A5 試験問題自体は専門学科等の生徒を前提として作られていますので、高等学校在学中に高等学校の教科書で学習する範囲の英語の文法や語彙をしっかり身につけておけば心配することはありません。しかし、専門学科等は英語の授業時間が普通高校より少ないので、入学後に英語の授業で若干苦労している専門学科等出身の学生もいるようです。第一次選抜では英語の試験がありますので、これに向けて夏休みは英語を集中的に勉強してください。合格後も英語の勉強を怠らずに、他の受験生のように大学入学共通テストや一般選抜の英語を受験するつもりで学習に勤しむとよいでしょう。

理学部 Q & A

Q1 総合型選抜では、大学入学共通テストの成績をどのような基準で見ますか？

A1 一般選抜では6教科8科目にわたる総合的学力を見ますが、総合型選抜では特に理数系科目と外国語の基礎学力を重視します。

Q2 総合型選抜では特にどのような学生を求めているのでしょうか？

A2 地球科学は理学の中でも総合的な学問ですから、数学、物理、化学、生物といった理数系科目の基礎をしっかりと習得したうえで、積極的に地球科学研究の最前線で学び、卒業研究に取り組もうという意欲的な学生を求めています。

Q3 面接では何をしますか？

A3 面接では、地球科学に関して興味のある分野や事柄、これまで熱心に行ってきた活動や体験、大学における学習計画、将来の抱負などを中心に質疑応答を行います。また、それらの質疑応答を通じて論理性や表現力、理解力などを評価します。

工学部 Q & A

Q1 特別な資格があると受験に有利なのでしょうか？

A1 学科の専門に関連した資格であれば、選考の際に考慮することがあります。しかし、特定の資格の有無が合否の条件とはなりません。

Q2 高等学校を卒業して、数年たつのですが総合型選抜を受験できますか？

A2 大学入学資格を有する人（出願資格を参照）で、アドミッション・ポリシーにあてはまれば、誰でも出願できます。

機械工学科

Q3 どういう選抜方法ですか？

A3 『専門学科及び総合学科枠』のみを設け、大学入学共通テストを課さないで、基礎学力試験（英語・数学・物理）、面接（口頭試問を含む）及び出願書類により総合的に評価して合格者を決定します。

Q4 面接ではどのような点が評価されるのでしょうか？

A4 面接では、主に機械工学や科学技術に関する関心・知識・経験、それらとアドミッション・ポリシーとの関連等について質問します。これらの質問を通して、機械工学に対する意欲や目的意識、的確に自分自身を表現する能力を評価します。

電気電子工学科

Q5 どういう選抜方法ですか？

A5 『専門学科及び総合学科枠』のみを設け、大学入学共通テストを課さないで、基礎学力試験（英語・数学・物理）、面接（口頭試問を含む）及び出願書類により総合的に評価して合格者を決定します。

Q6 面接に対して何か準備が必要でしょうか？また、どんな点が評価されるのでしょうか？

A6 積極性・学習意欲、知的好奇心、コミュニケーション力等、当学科で勉学するにあたっての適性を総合的に評価します。また、面接の中で数学や物理等の理解力を確認するために口頭試問を行います。高等学校で扱う範囲の学習をしっかりとっておいてください。

電子物質科学科

Q7 どういう選抜方法ですか？

A7 『専門学科及び総合学科枠』のみを設け、大学入学共通テストを課さないで、基礎学力試験（英語・数学・物理）、面接（口頭試問を含む）及び出願書類により総合的に評価して合格者を決定します。

Q8 推薦書は必要ですか？

A8 自己推薦書を提出してください。当学科で学ぶ意欲や目的意識を含んだ内容としてください。

Q9 面接に関して何か準備が必要でしょうか？

A9 エレクトロニクスや化学に関する知的好奇心とコミュニケーション能力等、当学科で勉学するにあたっての適性を総合的に判断します。高等学校で扱う範囲の学習をしっかりとっておいてください。

化学バイオ工学科

Q10 どういう選抜方法ですか？

A10 大学入学共通テストを課さないで、基礎学力試験（英語・数学・化学）、面接（口頭試問を含む）及び出願書類により総合的に評価して合格者を決定します。

Q11 推薦書は必要ですか？

A11 自己推薦書を提出してください。

数理システム工学科

Q12 どういう選抜方法ですか？

A12 大学入学共通テストを課さないで、基礎学力試験（英語・数学・物理）、面接（口頭試問を含む）及び出願書類により総合的に評価して合格者を決定します。

Q13 面接ではどのような点が評価されるのでしょうか？

A13 面接では一般的な質問に加え、アドミッション・ポリシーに従った質問をします。これらの質問をとおして、基礎学力を応用できる能力や的確に自分自身を表現できる能力を評価します。

農学部 Q & A

Q1 どういう選抜方法ですか？

A1 大学入学共通テストを課さないで、基礎学力試験（化学基礎・生物基礎）及び面接（口頭試問を含む）、更に出願書類を総合的に評価して合格者を決定します。

Q2 推薦書は必要ですか？

A2 自己推薦書を提出してください。高等学校等で課題研究に取り組んできた人は、その内容や得られた成果についても書いてください。

Q3 面接ではどのような点が評価されるのでしょうか？

A3 面接では、自己推薦書に基づいて志望動機、大学に入ってやりたいこと、将来の夢などを語ってもらいます。また、自分がこれまで取り組んできた課題研究があれば、それについて説明してもらいます。面接を通して、生物資源科学科で学ぶ適性、意欲、社会問題への関心、理解力、着眼点及び自分の意見を表現する力を評価します。

グローバル共創科学部 Q & A

Q1 どういう選抜方法ですか？

A1 大学入学共通テストを課さないで、聴講・論述試験、面接、出願書類により総合的に評価して合格者を決定します。

Q2 聴講・論述試験では、特に準備しておくことがありますか？

A2 特に準備する必要はありません。講義形式あるいは文書形式の題材を与え、その内容理解に基づいて、提出された課題を論述してもらいます。そこで、文系・理系の基礎学力、思考力、発想力等を評価します。

Q3 活動歴報告書はどのように書けばよいのでしょうか？

A3 受験生である皆さんの創造性に期待します。所定の様式にて2ページ以内（表紙を除く）に収まる範囲内で自由に論じて頂き、積極的にアピールしてください。「自己推薦書」の記述内容と重なるとは思いますが、それをより具体的に論じて頂ければと思います。なお、報告書の記載内容は面接試験において考慮されます。

☆ 学生生活

1 入学料・授業料の減免、給付奨学金

本学での入学料・授業料の減免については、【高等教育の修学支援新制度*】（入学料・授業料減免及び返還を要しない日本学生支援機構給付奨学金）により支援を行います。

※令和7年度からの「多子世帯（扶養する子供が3人以上の世帯）への授業料等無償化」も、この制度に含まれます。

日本学生支援機構給付奨学金は、進学する前年の4月下旬から、高校などを通じて日本学生支援機構へ申し込むことができます。

入学料免除は、入学時に、授業料減免は、入学後に、申し込みます。本学における「高等教育の修学支援新制度」の申請時期・方法等詳細については、合格者にお送りする入学手続き関係資料の中でお知らせします。

制度の詳細については、以下ウェブサイトでご確認ください。

○高等教育の修学支援新制度（文部科学省ウェブサイト）

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

○日本学生支援機構給付奨学金（日本学生支援機構ウェブサイト）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>

○進学資金シミュレーター（日本学生支援機構ウェブサイト）

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

窓口：学生生活課奨学係 TEL 054-238-4460（8:30～12:30, 13:30～17:15）

2 入学料の徴収猶予

学業成績優秀で経済的に困難なため納付期限までに入学料の納付が困難な人に対しては、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

窓口：学生生活課奨学係 TEL 054-238-4460（8:30～12:30, 13:30～17:15）

3 日本学生支援機構奨学金

学業成績が優秀で、経済的理由により修学困難な人には、申請に基づき選考のうえ、採用された場合は、日本学生支援機構から次の奨学金が貸与または給付されます。

詳細については、以下、日本学生支援機構ウェブサイトでご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/>

上記の他、財団・地方公共団体等の育英奨学団体奨学金の貸与または給付の制度があります。

窓口：学生生活課奨学係 TEL 054-238-4460（8:30～12:30, 13:30～17:15）

4 アパート・マンション ひとり暮らし

静岡大学生生活協同組合が、静岡地区及び浜松地区のアパート・マンションを紹介しています。また、物件の情報は同生協ホームページにて公開されています。「入学準備説明会」や「アパート仮予約」に関する情報も後日公開します。（12月中旬ころ更新予定）

静大生のアパート・マンション情報はこちらのウェブサイトをごらんください。

静岡大学生生活協同組合 アパート・マンション紹介サイト

https://www.univcoop-tokai.jp/sucoop/fresh/fresh_419.html



<物件紹介先>

[静岡]住まい事業部 Tel 054-237-7067（11:00～15:00 土日祝祭日休み）

[浜松]住まい事業部 Tel 053-412-5255（11:00～16:15 土日祝祭日休み）

* 最新の営業時間は静岡大学生協ホームページにてご確認ください。

☆ 学生寮

浜松地区に**あかつき寮**（男子）及び**あけぼの寮**（女子、留学生）があり、それぞれ定員に空きがある場合に入寮希望者を選考の上、入寮を許可します。

1. 入寮募集要項の公表時期 令和8年1月21日(水)頃 公表予定
2. 入寮希望申請期間 同上
3. 申請資格 浜松キャンパス内の学部〔情報学部・工学部〕の出願者
または同学部への入学手続きを行った者。

上記1の時期に、本学ウェブサイトに入寮募集要項を掲載します。
詳細は入寮募集要項をご確認ください。

※申請にあたり、両親の所得証明書（市区町村発行のもの）が必要です。
※あけぼの寮の留学生募集は上記方法と異なるため、浜松学生支援課留学生係にご確認ください。
※あかつき寮、あけぼの寮は浜松キャンパスの学部生・大学院生が入居できます。
※記載内容に変更が生じることがあります。学生寮の最新情報は本学ウェブサイトをご覧ください。
※学生寮の費用等は以下URLまたはQRコードからご確認ください。

<https://www.shizuoka.ac.jp/education/campuslife/dormitory/>



【問い合わせ先 あけぼの寮（女子）、あかつき寮】
静岡大学 浜松学生支援課 学生支援係
E-mail: hc-gakuseisien@adb.shizuoka.ac.jp

【問い合わせ先 あけぼの寮（留学生）】
静岡大学 浜松学生支援課 留学生係
E-mail: h-ryugaku@adb.shizuoka.ac.jp

☆ 国際交流会館（静岡・浜松）

外国人留学生及び外国人研究者に宿舍を提供すると共に、国際交流の場を供することを目的とした施設です。静岡国際交流会館では、国際交流に関心のある日本人も入居しています。
静岡国際交流会館では日本人新入生（4月入居）の募集を行うことがあります。
その場合は、令和8年1月21日(水)頃に本学ウェブサイトへ募集要項を掲載します。

※費用、設備等は以下URLまたはQRコードからご確認ください。

<https://www.suoic.shizuoka.ac.jp/international/dwelling/>

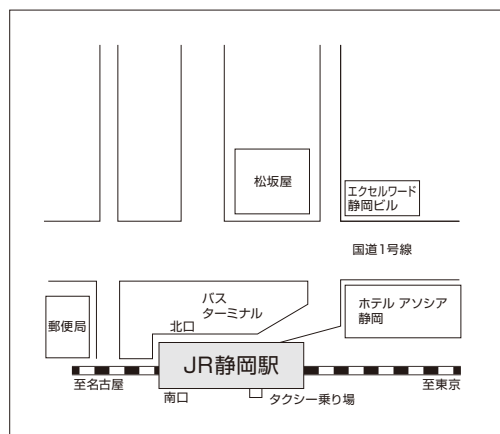
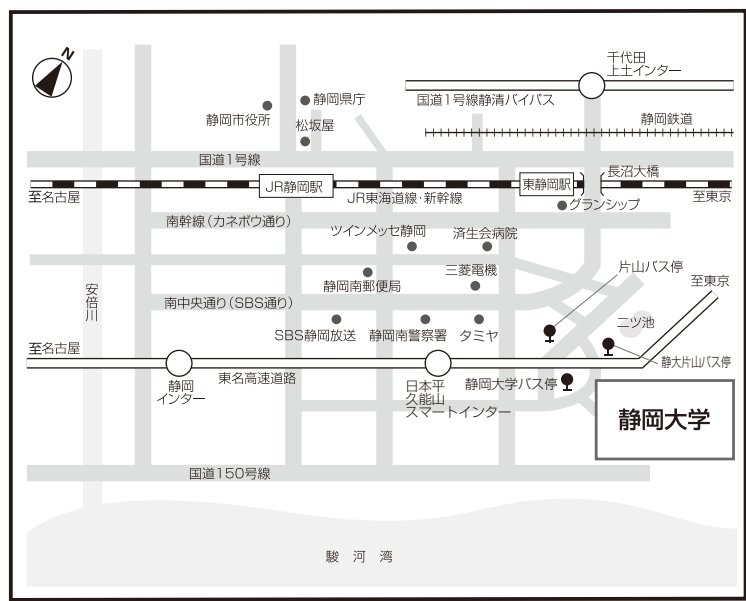


【問い合わせ先 4月入居募集について】
静岡大学 学務部 学生生活課
E-mail: seikatsufukushi@adb.shizuoka.ac.jp

【静岡大学 学務部 国際課 その他】
E-mail: int-office@adb.shizuoka.ac.jp

静岡大学静岡キャンパス

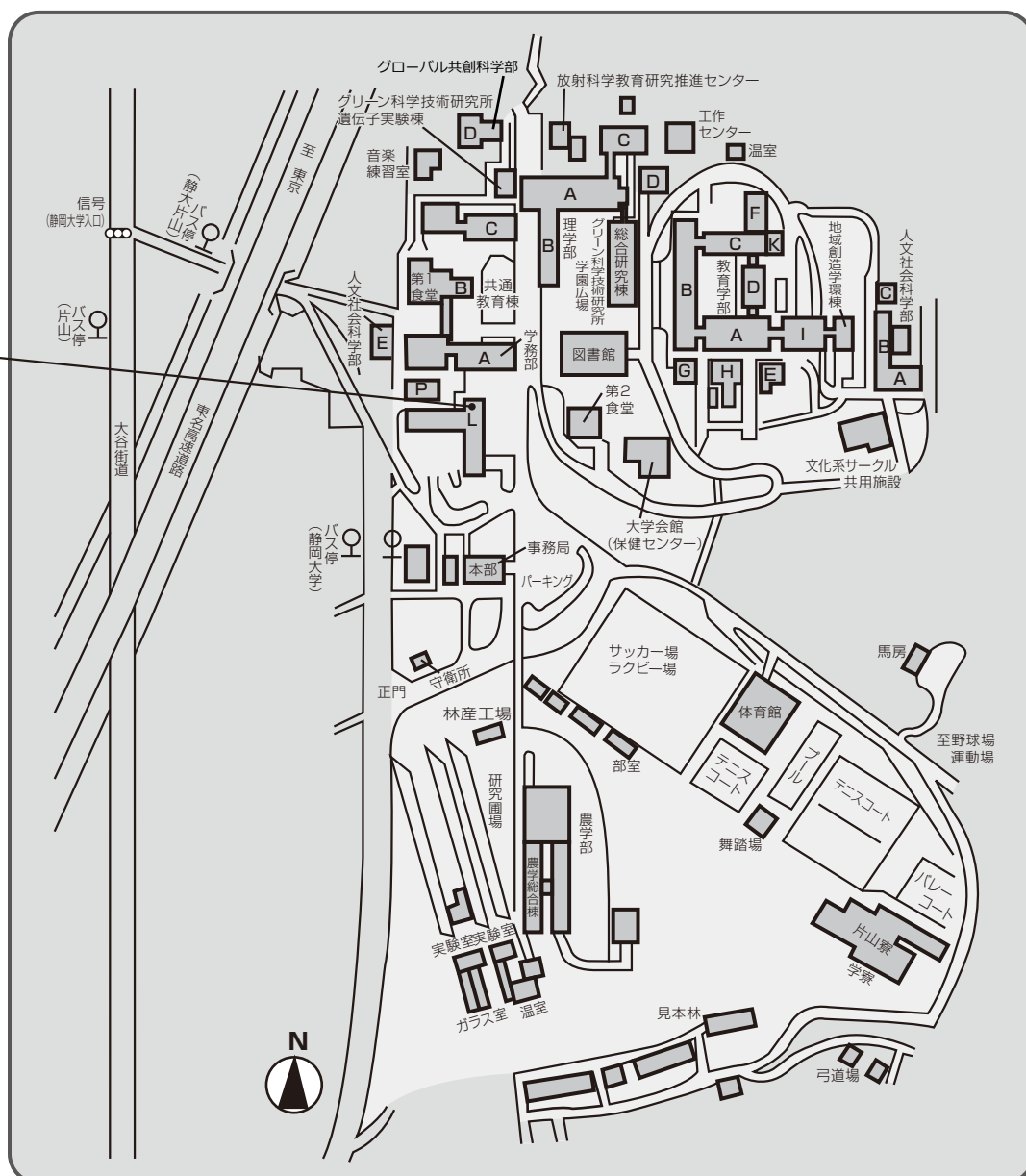
人文社会科学部・教育学部・理学部・農学部・
グローバル共創科学部



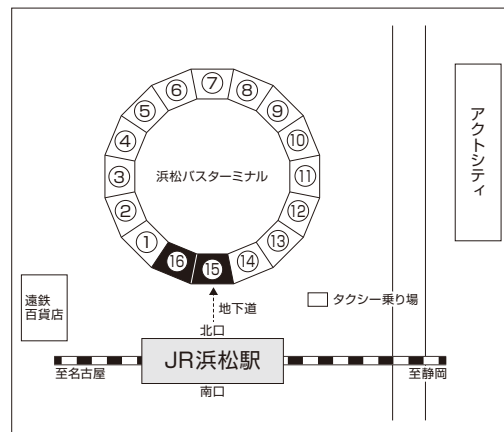
■静岡キャンパスへの交通案内

1. JR静岡駅前北口バスターミナルからしずてつジャストラインバス 8 番B乗り場（静岡大学行き、東大谷行きまたはふじのくに地域環境史ミュージアム行き）に乗りし「静岡大学」または「片山」下車（所要時間約30分）
2. JR静岡駅からタクシーで約20分

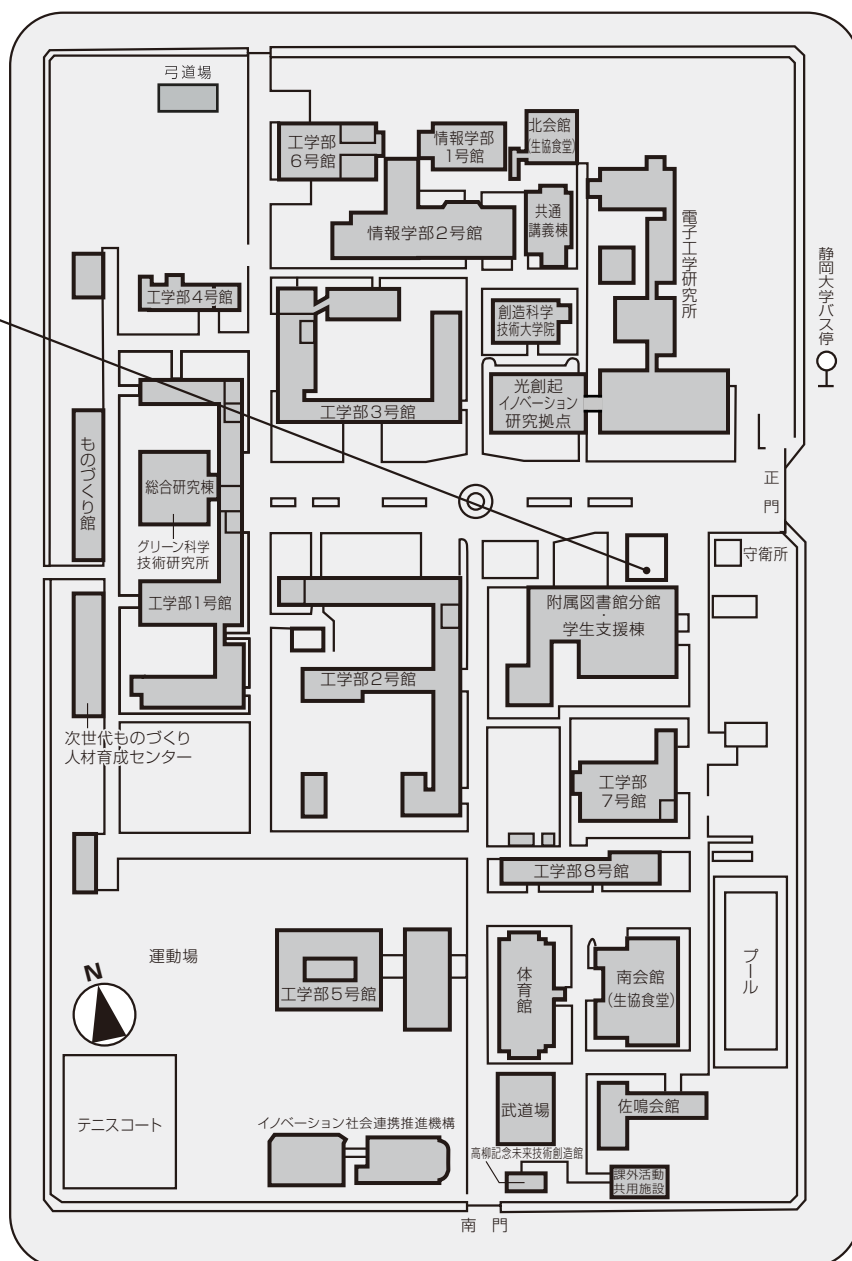
合格発表場所
共通教育Ⅰ棟掲示板



情報学部・工学部



1. JR浜松駅前北口バスターミナルから遠州鉄道バス15番または16番乗り場（気賀・三ヶ日・奥山行き等全路線）に乗車し「静岡大学」下車（所要時間約20分）
2. JR浜松駅からタクシーで約15分



入学試験情報の提供

1. インターネット

〔学部入試URL〕 <https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>

2. 入試情報の開示

静岡大学には、入試情報開示制度があります。令和8年度入学試験成績等のうち、個人の試験成績の開示申請は、インターネット出願と同時にインターネット上で受け付けます。申請者には令和8年5月15日（金）以降に情報開示決定通知書を順次送付します。

また、令和8年5月11日（月）から6月30日（火）までは窓口または郵送で受け付け、申請者には情報開示決定通知書を順次送付します。この期間に入学試験成績等の開示申請を行う場合には、**本学受験票及び本人確認ができる証明書等（大学入学共通テスト受験票等）**が必要となります。

詳細は、入試課までお問い合わせください。

個人情報の取扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取扱います。

1. 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。
2. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。（総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜に限ります。）
3. 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収、④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。
4. 上記1.及び3.の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供しますが、提供する個人データについては、本学において必要かつ適切な監督措置を講じます。

安全保障輸出管理

静岡大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入に際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」

静岡大学規則集 <https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.htm>

第2章 組織・運営＞静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

ENGLISH PAGE <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html>

入学試験に関する情報提供

静岡大学 学部入試サイト

- ・お知らせ
- ・出願状況，合格発表
- ・募集要項等請求
- ・オープンキャンパス，説明会 など



<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>

入学試験に関する問い合わせ先

必ず，受験者本人が照会するようにしてください。

8:30～12:30, 13:30～17:15〔土曜日，日曜日，祝(休)日及び本学の一斉休業日は受け付けません。〕

対 象	担当部局	所 在 地	電 話 番 号
人文社会科学部	人文社会科学部学務係	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4486
理 学 部	理 学 部 学 務 係		054-238-4861
農 学 部	農 学 部 学 務 係		054-238-4815, 4816
グ ロー バ ル 共 創 科 学 部	グローバル共創科学部学務係		054-238-3715
情 報 学 部	情 報 学 部 教 務 係	〒432-8561 浜松市中央区城北三丁目5番1号	053-478-1510, 1511
工 学 部	工 学 部 教 務 係		053-478-1010
概 要	入 試 課	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4464, 4465